

がしまある通信<No.13>

去った7・8月はオリンピックで盛り上がり、特に沖縄県ではスリングの屋比久選手や空手の喜友名選手の活躍に大盛り上がりでしたね。メダルの数も過去最高の58個となり、最高の結果で終わりました。さて、今回は最近話題になっている「ワクチン」についてのお話をしていこうと思います。



ワクチンってなに？



一般的に、感染症にかかると、原因となるウイルスや細菌などに対する「免疫」ができます。免疫ができることで、その感染症に再びかかりにくくなったり、かかっても病状が軽くなったりします。このような体の仕組みを使って病気に対する免疫をつけるための薬の事を「ワクチン」といいます。



予防接種の役割



予防接種には、「**個人を守る**」事と「**社会を守る**」という2つの役割があります。予防接種により、その病気への免疫がつくられ、その人の感染症の発症あるいは重症化を予防することが出来ます。また、多くの方が予防接種を受ける事で免疫を獲得していると、感染患者が出ても流行を阻止することができる「集団免疫効果」が発揮されます。そして、病気やアレルギーが原因でワクチンを接種することができない人たちを守る事にも繋がります。



副反応に対しての準備



ワクチンによる副反応は摂取後 1~2 日以内に起こることが多く、
症状の大部分は摂取後数日以内に回復します。しかし、発熱など
があり必要な場合には、解熱鎮痛剤を服用することがオススメで
す。市販されている解熱鎮痛剤は主に種類が2つあります。

①解熱鎮痛薬(アセトアミノフェン)

【新セデス錠・バファリンプレミアム・ノーシン等】

②非ステロイド性消炎鎮痛剤(NSAIDs)

【イブA錠・ナロンエース・ロキソニン等】



ただし、**妊娠中・授乳中・病気治療中・何らかの持病がある場合や、
薬のアレルギーがある場合、または症状が重い場合には、主治医
や薬剤師に相談する必要があります。**

最後に・・・



ワクチンを接種してから、1日程経つと発症予防効果が得られる
という結果があります。しかし、免疫がついても100%予防でき
るわけではありません。ワクチンを接種した後も自分がうつらない
ように、他の人にうつさないように、一人一人が今まで通り感染対
策を行っていく事がとても大切です。コロナに気を付けて、健康に
運動を続けていきましょう！！

<発行元>株式会社 アメニティプラス 〒901-2227 宜野湾市宇地泊 100
テイサービスセンターがじまある 098-942-8239 予防センター098-943-3192
ケアプランうちどまり 098-942-8238 **R3.9.1発行(年4回発行予定)**